

目指す姿
3

活気・賑わいを生むまち

●市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します

駅周辺の賑わいづくり

2億698万円



オープン以来、i-coreFUCHUでは参加者同士のつながりが芽生え、道の駅では、HAPPY SUNDAY MARKETや社会実験PicLikeなど賑わい創出に向けた新たな取り組みにより、エリアの可能性が拡がりつつあります。エリアの集客力・拠点性・回遊性をより高めていくため、i-coreFUCHUに新たなカフェの整備、レストランリニューアルによる道の駅の魅力向上、PicLikeを通じた公共空間づくり、3年後の市民プールの建設など、駅南エリアが生まれ変わる取り組みを進めるとともに、駅南北間の接続方策、エリア全体を統括するマネジメント機能のあり方の検討に着手します。

●歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により地域を活性化します

民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり

330万円

市内の3つのキャンプ場において、さらなる誘客に向けた利用者目線の施設運営や、魅力的な自主事業を実施していくために新たな事業者を選定し、利用者にとって快適で満足度の高い受入環境づくりを目指します。

歴史的建造物の保存・活用事業

2,484万円

「恋しき」の保全に加え、周辺の空き家・空き店舗を活用し、エリア全体で宿泊・食事などを提供する「分散型ホテル」を核としたまちづくりの実現に向け、民間事業者と連携して、新規プレイヤーの獲得とリノベーションによる町並み全体の活性化を図ります。

観光振興ビジョンの実現

2,388万円

観光商品づくりから受入環境の整備、誘客につながるプロモーションまでの継続した取り組みを行うとともに、観光地域づくりに取り組む住民団体を支援し、稼ぐ観光の実践につなげます。

歴史的財産保存・活用事業
(備後国府跡)

2,234万円

国府関連遺跡である伝吉田寺地区、金龍寺東地区において確認の発掘調査を引き続き実施するとともに、「整備基本計画」を策定することで、史跡指定地等の史跡公園整備などの構想や具体化を図ります。

●すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツによる地域の賑わいを創出します

スポーツを活用した賑わいの創出

3億6,131万円



健康で活力ある「スポーツのまち府中市」の実現に向けて、これまで取り組んできたEV&ゼロハンカーレース、市民マラソン、ドローンなどオンリーワンスポーツを推進するとともに、人工芝グラウンドや新たな市民プールの整備などのスポーツ施設の充実を図ります。また、今年連携協定を締結した、スフィード備後府中FCやサンフレッチェ広島などプロスポーツチームなどと連携した取り組みや、子どもから高齢者まで誰もが健康づくりやスポーツに親しめる新たな総合型のスポーツ推進組織の検討に着手します。

目指す姿
4

安全・安心が持続するまち

●自然災害をはじめとした、さまざまなリスクから命を守る取り組みを推進します

内水浸水対策事業

1,710万円

平成30年7月豪雨の際、浸水被害の大きかった中須西之町を含む中須排水区に新たに中須ポンプ場を整備します。その他の地域でも、引き続き可搬ポンプの効果的な運用や住民が個別に行う止水板の設置支援など、自助・共助を組み合わせた総合的な浸水被害対策など、安全安心の基盤づくりを行います。

●生涯を通じた市民の健康づくりを推進します

フレイル予防・健康習慣事業

5,135万円

日常からの健康づくり・フレイル予防が何より大切であるため、「生涯スポーツ・健康づくり」に親しめる仕組みづくりに加え、新たにICTを活用した医療介護データと個人の健康評価を紐づけた「健康カルテ」を作成し、健康リスクの早期予防に取り組みます。

市民の健康づくり(健診)事業

1,346万円

国民健康保険加入者を対象にしたドック健診の自己負担額を下げるなど、受診しやすい環境を整えます。また受診率の低い40代・50代向けに、働く世代が気軽に受診できるような健診メニューを新たに作り、受診者の増加を図ります。

湯が丘病院施設改築事業

1億640万円

老朽化した病院施設の改修に向けた基本計画・基本設計・実施設計と、敷地内の急傾斜地対策に向けた測量・設計を実施します。併せて、困難になりつつある看護師の確保や、建て替え後も見据えた職員の人材育成・経営改革にも取り組みます。

●安全・安心で、快適な暮らしを実感できる生活環境を確保します

住生活基本計画の策定

1,306万円

少子高齢化対策・人口減少抑制に大きな要素を占める「住むこと」に焦点を当て、公営住宅が担う役割のあり方や官民が連携した住宅セーフティネット、成熟した団地の諸課題、子育て世帯、高齢者世帯、外国人といった属性に応じた住み方・住まい方について検証し、府中市に住みたい・住み続けたいライフスタイル重視の「住政策」を構築します。

目指す姿
5

ICT都市ふちゅうの実現

●Society5.0を見据え、さまざまな分野でのICTなどの未来技術の導入を目指します

遠隔リモート相談

～リモート相談(多点間連携)構築事業～

2,053万円

最寄りの行政窓口でICTを活用して相談ができるように計画しています。これにより、子育て関連、市役所で行う各種手続きに関する相談や申請が便利にスムーズに行えるようになります。